

く 大きく育てわたし達のどんぐり く

佐久市立中佐都小学校



「いっぱい見つけたよ。」



先生のお話を真剣に聞きます



どんぐりの選別中「水に浮くのはダメなんだって」

どんぐりコロコロどんぶりこ・・・。
子供の頃、そう口ずさみながらどんぐり拾いをした記憶が、みなさんにもあるのではないだろうか。
未来の森林の担い手である子ども達には、自然の楽しさや大切さを知り、もつと森林に親しみを持って欲しい。そのきっかけとして、どんぐりを育てて森林に返す「どんぐり大作戦」に七つの小学校が取り組んでいます。
そのうちの1校、佐久市の中佐都小学校では、十月に学校の近くの山でどんぐり拾いをしました。
拾ったどんぐりは、水に浮かべて選別した後、冬の間は土の中に埋めて保存しています。春になったら改めてどんぐりの種播きに挑戦です。
この他の学校では、秋のうちに畑やプランター等にどんぐりを播いたところもあり、春になって芽が出るのを楽しみに待っています。
最近では、どんぐり拾いを出来る場所も少なくなっているようですが、子供達が育てるどんぐりの苗木は、学校林や植樹祭などで地域の山に植えられる予定です。
その木が大きく育つころには、大人になった彼らが、地域の森林を育てていくのではないのでしょうか。